



NPO
花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

Therapeutic Promotion Society for Pollinosis and Rhinosinusitis

VOL.12



NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

〈事務局〉
〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1
大森赤十字病院 耳鼻咽喉科 内
TEL:03-3775-3111(代表)

www.hanamizu.jp

本パンフは、NPOホームページからダウンロードもできます。

NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 Since 2013

「パンフレット(第12号)」の刊行に寄せて

大久保公裕

NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 理事長

日本医科大学花粉症学(寄付講座) 教授、日本医科大学 名誉教授



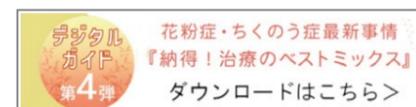
NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会も設立12年になりました。一方私事ですが、1978年の日本医科大学入学から47年もあっという間に過ぎて大学を定年となりました。耳鼻咽喉科の奥田稔先生の元でアレルギー学を専攻し、大学院を1988年にどうにか卒業しました。さらに1989年に米国国立衛生研究所のアレルギー部門に留学できたため、ようやく今の自分がいます。当NPO事務局長の松根彰志先生は私とも同じ年で、ほとんど同じ様な経歴で、鹿児島大学卒業および同大学院修了後、米国ピッツバーグ大学に留学されております。今は二人ともお陰様で日本医科大学名誉教授になっています。二人とも大学を離れた分、より臨床的に花粉症、鼻副鼻腔炎の患者さんのQOL向上に向けてこのNPOを活性化しようと考えております。毎年の猛暑の中でのスギ花粉の成長により、スギ花粉症の患者さんは増加し、さらに重症化しています。また新規の感染症も増えてくる中での呼吸器の最外層である鼻粘膜での感染から重症化してくるのは鼻副鼻腔炎です。これら二つの疾患を中心として患者さんのQOL向上のための啓蒙活動として、現在はYou Tubeを主体として活動しています。これだけではなく昨年度からは鼻副鼻腔炎の新規の治療方法としてカテーテル治療を医師向けに講習会を行い、薬物療法や手術だけでなく積極的治療による副鼻腔炎の患者さんの早い治癒に貢献しようと考えております。

我々の活動は鼻副鼻腔という限られた部分だけですが、呼吸という最も必要な人間の行為に重要な役割を果たす臓器です。ここに焦点を当て、今後も国民の皆様の健康に寄与できれば幸いです。当NPOのこれらの活動にご支援を賜りますよう是非ご指導ご鞭撻のほど心からお願い申し上げます。

Web (<https://hanamizu.jp/>)



以下のサイトにもいろいろ役にたつコンテンツが掲載されています。

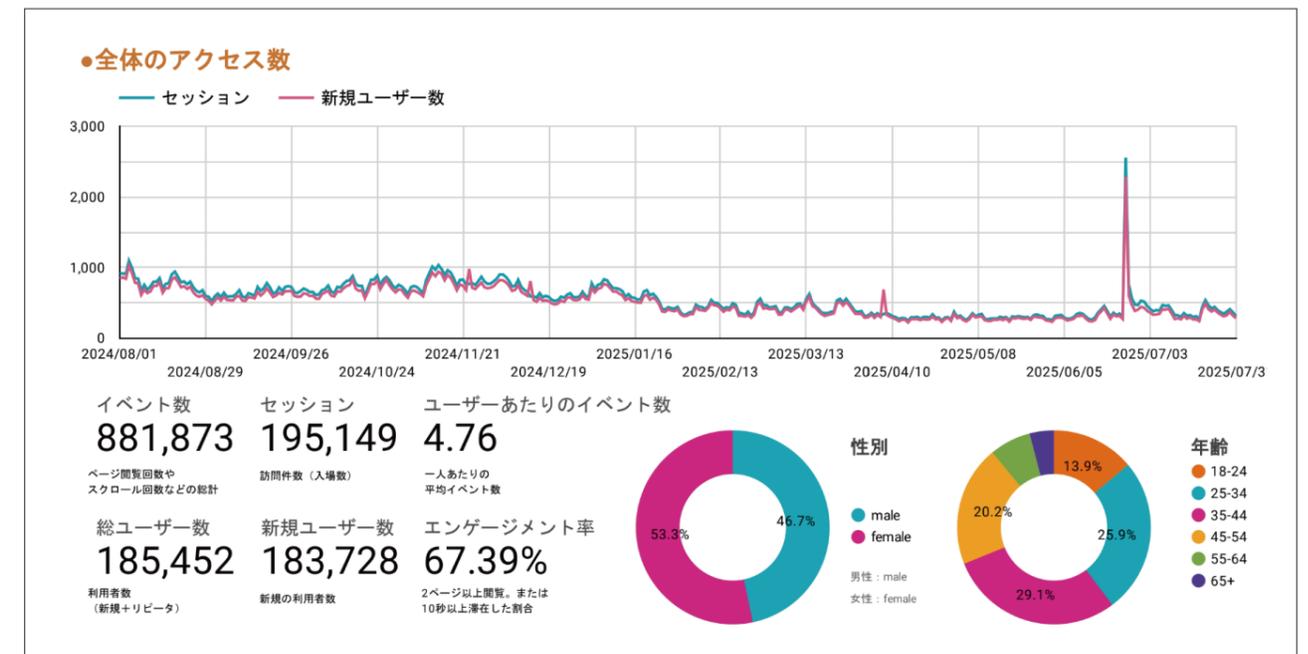


NPO活動

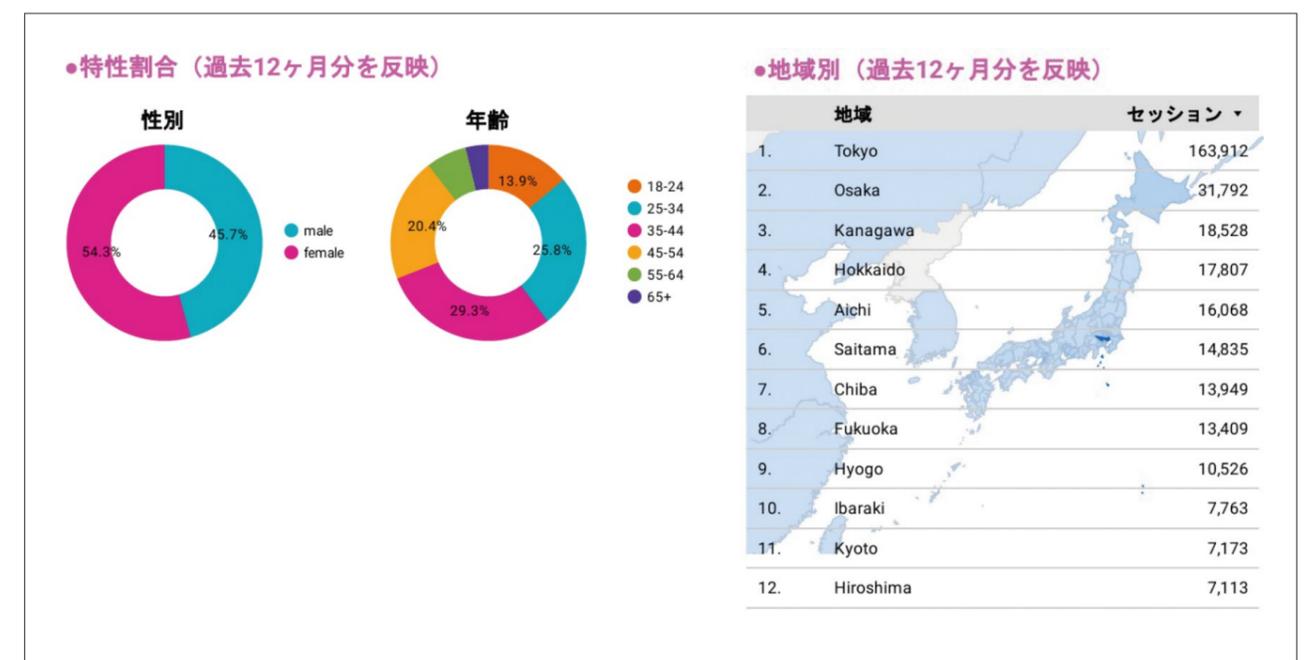
コロナが5類に変わり、以前の生活が戻ってきました。ホームページ、You Tubeの活動を軸にしていながら、対面での活動も続けております。みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

(副理事長、事務局長 松根彰志)

1. Webレポート① 直近(2025年7月)1年間の当NPO webへのアクセス



2. Webレポート② 直近(2025年7月)1か月間の当NPO webへのアクセス



3. YouTube 番組別アクセス数上位コンテンツのご紹介

You Tubeではたくさんの方にアクセスしていただき当NPOの活動を知っていただけました。

順位	番組タイトル	平均視聴時間(平均再生率)	アクセス数
1位	副鼻腔炎(ちくのう症)のカテーテル治療とは? (Actual catheter treatment example for sinusitis) 松根彰志先生が動画で解説! 2021/07/12	1分42秒(29.8%)	155,103
2位	ちくのう症の膿 自分で出す方法 松根彰志先生がやさしく解説! 2022/01/10	1分28秒(42.8%)	155,603
3位	ドロドロの鼻水は膿!?喉にも流れ!?マッサージで出せる? 松根彰志先生がやさしく解説 2023/05/24	1分09秒(46.4%)	18,518
4位	ちくのう症・後鼻漏におすすめ 「鼻洗浄」には「鼻から鼻」「鼻から口」がある!? 松根彰志先生がやさしく解説 2023/08/15	1分42秒(30.6%)	17,959
5位	ちくのう症の膿は自分で出せる? 病院で出す方法は? 松根彰志先生がやさしく説明 2022/09/05	1分14秒(38.6%)	14,802
6位	好酸球性副鼻腔炎 松根彰志先生がやさしく解説 2024/06/20	1分53秒(54.9%)	8,337
7位	ペットボトルで鼻づまりが解消! 「ペットボトル脇はさみ法」とは? 大久保公裕先生がやさしく解説! 2021/08/31	1分16秒(45.6%)	7,407
8位	「鼻茸(はなたけ)」とは? 副鼻腔炎(ちくのう症)との関係や治療法について、 松根彰志先生がやさしく解説! 2021/10/29	1分14秒(53.1%)	7,201
9位	ちくのう症・後鼻漏におすすめ 「鼻洗浄」には「鼻から鼻」「鼻から口」がある!? 松根彰志先生がやさしく解説 2024/11/05	1分18秒(55.5%)	6,428
10位	鼻ワセリンは花粉症に効果ある? 絶対にやってはいけない事とは? 大久保公裕先生がやさしく解説! 2022/03/02	1分02秒(57.5%)	4,971

4. 主なテレビ出演(地上波)の記録

①【ぼかぼか】名医が教える花粉症対策SPに、大久保公裕NPO理事長が出演しました。

最新の花粉症治療やおすすめの花粉症対策法について解説しました。大久保先生がまず紹介した対策法は「インナーマスク」。不織布マスクの内側で鼻の下にガーゼで包んだコットンを装着するものです。さらに、おすすめの対策法として、花粉が舞い上がりやすい玄関近くに空気清浄機を置いたり、毎日お風呂に入って花粉をきちんと洗い流すことなどを紹介しました。次に、最新の花粉症治療法として、重症患者向け皮下注射の「オマリズマブ」、鼻腔内に粉末を噴霧してコーティングし花粉が鼻粘膜に接触するのを物理的に防ぐ「ナサリーズ」、抗ヒスタミン薬の貼り薬を解説しました。これらの治療法は対症療法ですが、根本的に治したい人には「舌下免疫療法」があることも紹介しました。



フジテレビ 2025年2月5日放送

②【カズレーザーと学ぶ】「花粉症最新対策SP」に、大久保公裕NPO理事長が出演し、最新の花粉研究やおすすめの花の対策法について解説しました。

花粉は様々な要因で爆発することが解明されています。大久保先生は「爆発した花粉の殻に含まれるアレルゲンが人の皮膚に付着すると、トロンピンというタンパク質が活性化。水分が蒸発し、肌の潤い、バリア機能を低下させる」と説明。よってメイク直しは花粉を肌にごすりつけるようなもので、花粉防止スプレーをかけてから外出するか、メイク直しの前の洗顔が好ましいのだそう。

また、今注目されている「にごり酢」についても紹介。穀物や果物を酢酸菌で発酵したものはにごり酢と呼ばれ、酢酸菌がアレルギー反応を緩和するといえます。一部のスーパーで販売されていて、1日大さじ3杯を摂取することで症状の改善が期待できるそうです。



日本テレビ 2025年2月25日放送

4. 主なテレビ出演(地上波)の記録

③【ひるおび】「花粉飛散がピーク迎え…静電気防止がカギに？」に 大久保公裕NPO理事長が出演しました。

花粉は雨などの影響で爆発することがわかっています。大久保先生は「上京して花粉症を発症する人が多いのは、都市部で花粉爆発が多いのが影響している可能性」とコメント。「花粉症対策としてマスク、めがねは有効、まだ花粉症でない人も対策を」、「静電気による衣服への花粉の付着にも注意が必要」とアドバイスしました。

また、根治を目指すスギ花粉症舌下免疫療法についても解説し、「治療期間は3~5年だが、早い人だと投与開始3週間で効果が出ることも」、「スギ花粉症患者の約8割が改善し、約3割が治る可能性がある」とコメントしました。



TBS 2025年3月7日放送

④【ヒルナンデス】「早めの健康対策!切らずに鼻炎が治る!」 ~副鼻腔炎のカテーテル治療~松根彰志NPO事務局長(副理事長)が出演しました。

松根彰志NPO事務局長(副理事長)先生が出演し、副鼻腔炎のカテーテル治療について解説しました。番組では、副鼻腔炎治療用のカテーテル機器を用いて、副鼻腔に溜まった膿汁を排出したり、薬液を流し込む方法が紹介されましたが、痛くないのが特徴なのだそう。当NPOでは副鼻腔炎のカテーテル治療を推奨し、実施できる医院を紹介しています。

*この治療は、いわゆる「保険診療」ですが、すべての副鼻腔炎に有効なものではなく、「適応」があります。



日本テレビ 2025年6月25日放送

5. 共同参加案件や指導・研究論文のご報告

<和文>

細矢慶, 中島愛, 芳田梓, 小町太郎, 中村利枝, 越谷美由紀, 加藤政利, 後藤穰, 松根彰志, 大久保公裕

基準嗅力検査の認知域値測定に関する患者への意見調査.

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 127(5), 651-657,2024.

細矢慶, 小町太郎, 香中優美, 大久保公裕, 松根彰志

嗅覚障害患者におけるコク受容強度に対する嗅覚の影響

日本味と匂学会誌 31,41-46,2024.

春名良洋, 松根彰志, 石田麻里子, 大久保公裕.

市販ディスク診断によるダニ・局所アレルギー反応性鼻炎(LAR)の組織学的検討と病態仮説.

耳鼻咽喉科展望 67,85-93,2024.

<英文> 要点は日本語で解説いたします。

Makihara S, Hosoya K, Uruguchi K, Maeda Y, Komachi T, Yorifuji T,

Ando M, Matsune S, Okubo k

Neurectomy for allergic rhinitis in Japan: Increasing trends and surgeon preferences. Auris Nasus Larynx 51(5),834-839,2024.

目的: アレルギー性鼻炎(AR)に対する最適な手術法には合意がなく、特に小児および高齢者への手術適応には議論があります。本研究は、日本におけるARの外科的管理、特に傍交感神経切除(neurectomy)に関する動向および術者の選好を解析することを目的としました。

方法: 日本の「保険診療請求・特定健診データベース」(National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan=NDB)を用いて、2014年4月~2022年3月に実施された手術件数を包括的にレビューしました。さらに、全国の耳鼻咽喉科医を対象に横断的アンケートを行い、手術選好・実践パターンを収集しました。

結果: NDBデータでは、ニューレクミー(神経切断術)の件数が増加傾向にあり、最も多い年齢層は25-29歳でした。また、小児や高齢者にも手術が実施されていることが確認されました。

アンケート結果では、術者の58.2%が「後鼻神経の末梢枝ニューレクミー(peripheral branch neurectomy of the posterior nasal nerve)」を好んで選択しており、さらに術者の51.2%が「18歳未満の患者には手術を適さない」と考えていることが明らかになりました。

結論: 日本において、ARに対する手術では、より簡便かつ侵襲が少ない手技(末梢枝ニューレクミー)への移行が起きています。しかしながら、長期成績や手術技術の洗練化にはさらなる研究が必要です。また、小児・高齢者という年齢層別の考慮も重要であることが示されました。

●学位論文

Yoshioka Y, Matsune S, Sekine K, Ishida M, Wakayama N, Yamaguchi S, Okubo K.

Improvements in blood IGF-1 and skeletal age following adenotonsillectomy for growth delay in children with obstructive sleep apnea. Auris Nasus Larynx 51,236-241, 2024.

目的: 小児における閉塞性睡眠時無呼吸症(OSA)で成長遅延がみられる症例に対し、Adenotonsillectomy(AT:アデノイド/扁桃摘出術)を行った後、高インスリン様成長因子-1(IGF-1)および骨格年齢の改善が得られるかを、身長・体重・血中IGF-1値・骨年齢(手根骨X線)で検討した。

方法: 対象は2~9歳の子ども35名(男児21、女児14;平均年齢5.85±1.75歳)で、手術前および術後3ヶ月・12ヶ月時点で、呼吸イベント指数(REI)、3%酸素飽和指数(3%ODI)、身長SDスコア、BMIパーセンタイル、血中IGF-1、手根骨X線による骨年齢を測定・比較した。

結果: 身長SDスコアは術前平均-0.44±1.13から術後3ヶ月-0.22±1.14、12ヶ月-0.13±0.94へと有意に改善した。ただし、術後3ヶ月→12ヶ月の間では有意な改善増加は認められなかった。

BMIパーセンタイルは術前35.6±26.7から術後3ヶ月44.7±26.5、12ヶ月49.1±22.15へと有意に改善し、3→12ヶ月の間でもさらに有意な改善があった。IGF-1のSDスコアは術前-0.57±1.00から術後12ヶ月-0.12±0.89へ有意改善を示した。

骨年齢と暦年齢との差(骨年齢遅延または進行)の平均的な改善は有意ではなかったものの、骨年齢が「正常範囲」に移行した症例数が術前74.3%→術後94.3%へと有意に増加し、骨年齢が遅延あるいは進行していた症例数が25.7%→5.7%に有意に減少した。

結論: 成長遅延を伴う小児OSA症例に対してATを実施することで、身長/体重増加、IGF-1上昇、骨年齢正常化の傾向が早期に得られる可能性が示唆された。特に、成長ホルモン(GH)分泌低下が関与していると考えられる症例に対し、手術により深睡眠改善を通じたGH分泌改善・IGF-1上昇が発育正常化を促したと考えられる。

6. 大久保公裕(NPO理事長)と松根彰志(NPO事務局長・副理事長)の刊行物

①大久保公裕(NPO理事長)

「アレルギー免疫療法—基礎と臨床—」を発行いたしました。第125回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(2024年5月大阪開催)において臨床講演を担当し、その際執筆したものになります。

全130ページ、中西印刷(京都)にて2024年5月発行。

<目次と主な内容>

1. アレルギー免疫療法の歴史 *アレルギー性鼻炎とアレルギー免疫療法の歴史、日本医科大学でのアレルギー免疫療法の歴史
2. 皮下免疫療法の実際
3. 舌下免疫療法の実際
4. エビデンスから見たアレルギー免疫療法の効果発現
5. 開発治験から得たエビデンス
6. 現状と未来 *舌下免疫療法の現状と問題点、ペプチド免疫療法、アジュバント免疫療法、リソゾーム関連膜タンパク(LAMP)免疫両療法

②松根彰志(NPO事務局長・副理事長)

「鼻副鼻腔炎の病態と診療に関する論点」を発行いたしました。これまで40年以上副鼻腔炎の病態研究や診療に長年携わってきた著者が、鹿児島大学、米国ピッツバーグ大学、日本医科大学における著者自らの研究成果を中心に、臨床的な課題や問題点を病態に基づいて語りかえるつもりで、わかりやすく解説したものです。いわゆる業績(リスト)集ではありません。

全41ページ、中西印刷(京都)2025年3月発行

<目次と主な内容>

1. 序にかえて 副鼻腔炎の基本病態と最近の流れ
2. 慢性鼻副鼻腔炎に対するマクロライド(少量長期)療法
3. 好酸球性鼻副鼻腔炎 *腸内マイクロバイオーム-腸内カンジダ上流因子仮説(文科省。科学研究費により現在進行中)
4. 鼻副鼻腔炎治療におけるカテーテル治療の導入と現状 *「薬物治療」と「手術」のはざままで悩む患者との対話のつもりで
5. 鼻副鼻腔炎と血管内皮細胞増殖因子(VEGF) *「バイオ製剤の適切な使い分け」に避けて通れないバイオマーカ研究
6. 日常診療での疑問の解決への努力が、国内外の病態概念の発掘につながる「老人(加齢)性鼻漏」と「局所アレルギー性鼻炎(LAR)」 *局所アレルギー性鼻炎の診断学上の重要性
7. 上気道粘膜(耳管、副鼻腔、下鼻甲介粘膜局所)におけるリンパ濾胞形成と抗体産生 *「血液中総IgEの診断学」への期待

7. 研究会支援活動のご報告

第1回から第13回に至るまで、本研究会の代表世話人を務めさせていただいておりましたが、日本医科大学を定年退職することを節目として、世話人を退任することになりました。この間お世話になりましたMSD様、杏林製薬様、世話人各位、本研究会にご参加いただいた先生方に感謝申し上げますとともに、当NPOの重要年間支援企画としての位置付けにご理解いただきましたNPO役員、会員の皆様に心からお礼を申し上げます。最後に神奈川気道炎症病態研究会の発展を期待しております。

第13回 神奈川気道炎症病態研究会
日時: 2024年11月8日(金) 18:50~21:00
会場: TKPガーデンシティ横浜2Fホール

開会の辞: 日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科 教授 松根 彰志 先生

特別講演 1

司会: 帝京大学 医学部附属溝口病院 第四内科 教授 幸山 正 先生

演題: 「気管支喘息における咳嗽診療の重要性」

演者: 埼玉医科大学 呼吸器内科 教授 中込 一之 先生

特別講演 2

座長: 横浜市立大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 主任教授 折館 伸彦 先生

演題: 「耳鼻咽喉科診療からみた気道炎症病態の今日的論点と今後に期待するもの」

演者: 日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科 教授 松根 彰志 先生

閉会の辞: 横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学 主任教授 金子 猛 先生



8. 「エムスリー」への原稿投稿をいたしました。(2025年10月の1か月間掲載)

副鼻腔炎治療用カテーテルについて

提供 NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

*株式会社ディブインターナル様(東京都台東区)のご支援をいただきました。

文責 松根彰志(NPO事務局長)

1. 副鼻腔炎治療 Over View とカテーテル治療
2. 急性・慢性鼻副鼻腔炎治療(保険診療)の概要
3. 当科での鼻副鼻腔炎の治療アルゴリズムの中でのカテーテル治療
4. 副鼻腔炎治療用カテーテル適応

**カテーテル治療の実施方法

NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会のホームページに実施方法の動画があります。是非ご覧ください。

<https://hanamizu.jp/contents/empyema/629/>



旧ロシア製 副鼻腔炎治療用カテーテル (YAMIKカテーテル®)



新日本製 副鼻腔炎治療用カテーテル (EntDibカテーテル®)

9. 第3回、第4回「副鼻腔炎カテーテル治療」講習会(オンライン)を開催いたします。

当NPOが発信している「副鼻腔炎カテーテル治療」は、日本テレビ「ヒルナンデス!」で紹介されるなど、今とても注目されています。そこで今年、来年と続けてオンライン講習会を行うことになりました。内容は以下を予定しています。

1. カテーテル及び注射器の使用法の説明
2. 患者モデルを使った実技:「副鼻腔へのガーゼ挿入(麻酔 *20分程度置きます)」と「ガーゼ除去し、カテーテルの使用」
3. 質疑応答

講習会の概要

日時: 第3回2025年12月11日(木) 19時00分~20時30分

第4回2026年1月22日(木) 19時00分~20時30分

形式: オンラインによるLive配信(質疑応答あり)

主催: NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

後援: (株)ディブインターナショナル

講師: 松根彰志先生 (大森赤十字病院 耳鼻咽喉科部長)

※参加費用には、カテーテル1本(お振込み後に郵送)が含まれています。注射器(20~30cc)はご自身でご準備ください。講習会終了後に「受講証」をお送りします。

10. 2025年度(令和7年度)NPO役員会と総会(web)開催いたしました。

日時: 11月29日(土) 17時開会

議題: 1) 令和6年度(2024年7月1日~2025年6月30日)事業報告

2) 令和6年度(2024年7月1日~2025年6月30日) 会計報告、監査報告

3) 令和7年度(2025年7月1日~2026年6月30日) 事業計画(案)

4) 令和7年度(2025年7月1日~2026年6月30日) 予算(案)

5) その他

謝 辞

今回も多くの企業様、団体様から「特定非営利活動法人(NPO)花粉症・鼻副鼻腔治療推進会」の活動をご理解、ご賛同いただいております。You Tube 動画を含むホームページや当パンフレット内で紹介させていただいております種々の活動を支えていただき誠にありがとうございます。感謝の意を込めまして、お名前を掲載させていただきます。(50音順)

今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NPO 理事長 大久保公裕

杏林製薬
サノフィ
田辺ファーマ
帝國製薬
東京鼻科学研究所
鳥居薬品
Meiji Seika ファルマ
モリタ製作所

サポーター医療機関



社会医療法人社団正志会 花と森の東京病院

エリア:東京都北区
代表者:(開設者)社会医療法人社団正志会 理事長 猪口正孝/(院長)小平祐造



社会医療法人財団 石心会 川崎幸クリニック

エリア:神奈川県川崎市
代表者:院長 杉山孝博



医療法人社団専心会 いがらしクリニック

エリア:東京都荒川区
代表者:五十嵐 利一

令和7年11月末日現在

企業広告





持続性選択 H₁ 受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
処方箋医薬品[※]
デスロラタジン錠 薬価基準収載

デザレックス[®]錠 5mg

Desalex[®] Tablets 5mg

(注)注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

発売元
杏林製薬株式会社
東京都千代田区大手町一丁目3番7号
(文献請求先及び問い合わせ先:くすり情報センター)
東京都新宿区左門町20番地

プロモーション提携
科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
(文献請求先及び問い合わせ先:医薬品情報サービス室)

製造販売元
オルガノン株式会社
東京都港区南青山1-24-3

作成年月: 2024.5

●

We chase the *miracles* of science to improve people's lives



●

私たちは人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求します。

●

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー www.sanofi.co.jp

sanofi

選択肢をつくる。
希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺ファーマはつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつづけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。



2025年12月より田辺三菱製薬は田辺ファーマに社名を変更しました。



つーんとしない
鼻洗浄器 **ハナクリーン**

ハンディタイプ
手軽な鼻洗浄に



1回
150ml

ボディ
プッシュ

★ハナクリーンS★
4,345円(税込)

スタンダードタイプ
本格的な鼻洗浄に



1回
300ml

ピストン
ポンプ

★ハナクリーンα★
9,350円(税込)



ハナクリーンは快適な鼻洗浄の3条件を備えた鼻洗浄器。
副鼻腔炎や後鼻漏の補助的療法としてもオススメです。

Since
1979

株式会社 東京鼻科学研究所
〒152-0004 東京都目黒区鷹番 2-10-7
03-3792-2460

鼻洗浄動画 公開中!

ハナクリーン



Patch Medication, Globally

独自技術で市場ニーズを解決する存在感のある会社をめざします。



帝國製薬株式会社

本社：香川県東かがわ市三本松567番地
事務所：東京・大阪 工場：香川・徳島
<https://www.teikoku.co.jp>

<帝國製薬グループ>
TEIKOKU PHARMA USA, INC.
テイコクファルマケア株式会社
株式会社セレンファーマ



“健康”という名の“しあわせ”を守りたい

一人でも多くの人に健康としあわせをお届けしたい。
それは創業以来150年…わたしたちの変わらぬ想いです。
わたしたちは良き医薬品の提供を通じて
患者様へしあわせを届けるお手伝いをしています。



鳥居薬品株式会社
SHIONOGI Group Company
東京都中央区日本橋本町3-4-1
<https://www.torii.co.jp>

健康にアイデアを
meiji

次世代の国産ワクチンをつくる。

世界の片隅で発生した感染症が短期間で世界中に広がる。
グローバル化は、感染症の拡がりも加速させた。
製薬において「安全」は、もちろん最優先。
その上で、これからのワクチン開発に求められるのは、
感染症拡大に負けない「スピード」であると私たちは考えます。
世界では、新型コロナウイルスだけでなく、
エムボックス(サル痘)やデング熱など感染症の脅威は続いている。
さらに気候変動などの影響で、
未知の感染症が発生するリスクも指摘されている。
コロナ禍において日本はワクチン開発で他国に遅れを取り、
海外のワクチンに頼らざるを得ませんでした。
次の感染症流行への備えとして、
国内で必要な時に必要なワクチンを開発し、生産できる体制を
私たちMeiji Seika ファルマは目指します。

未来まで守れ。

Meiji Seika ファルマ株式会社

Thinking ahead. Focused on life.

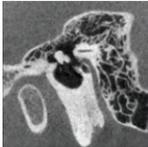
MORITA

FX800

New Frontier of the X-ray

高精細な360度CT撮影モードと、低照射線量の180度CT撮影モードを搭載
スリムボディで省スペース設置が可能
関心領域に合わせたFOVを選択することで、
被ばく線量を抑えた高精細な画像を提供します

NR(ノイズリダクション)機能

NR OFF (90 kV, 3 mA) NR ON (90 kV, 3 mA)



株式会社 **モリタ製作所** 京都府京都市伏見区東浜南町680番地 〒612-8533 TEL 075-605-2323 FAX 075-605-2355 e-mail: jm-med@morita-mfg.co.jp
 営業所: 東京オフィス 阪神オフィス 埼玉営業所 名古屋営業所 九州営業所
 販売名: 頭部用X線CT装置 FX800 一般的名称: アーム型X線CT診断装置 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 307ACBZX00011000

製品紹介ページ

**NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会
パンフレット第12号**

編集責任者 松根彰志
 U R L <https://hanamizu.jp>

発行日 2025年11月30日
 印刷所 エヌ・ビー・エフ株式会社(東京都港区)
 U R L <http://www.npfros.co.jp>